

**【参考資料】第6期まえばしスマイルプランにおける
介護保険事業の状況**

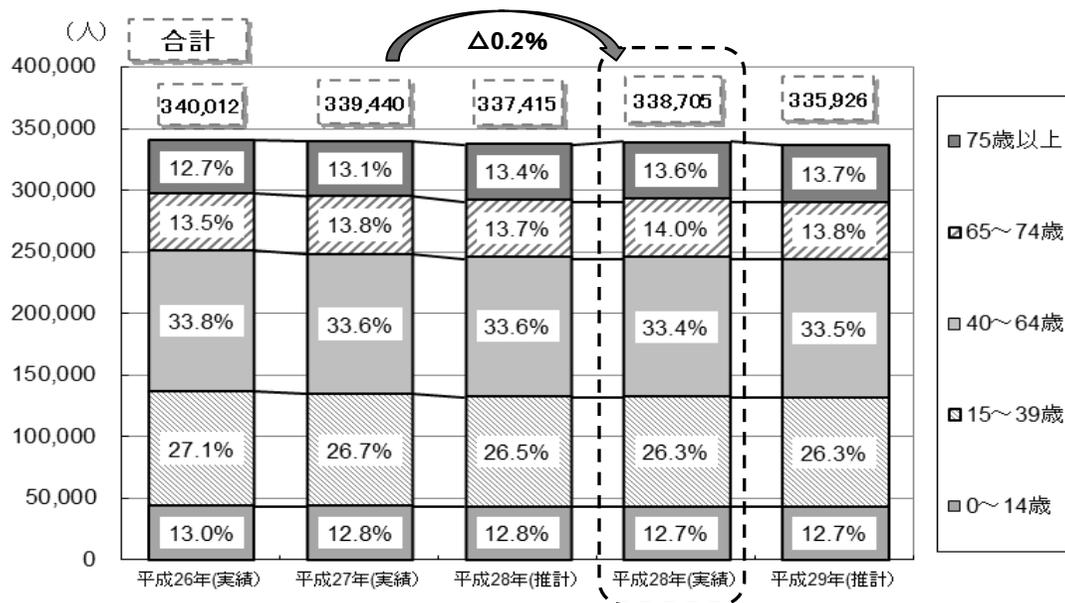
2017年 8月31日

【参考】第6期スマイルプランにおける介護保険事業の状況

1 人口推計の状況

■ 推計人口の状況(各年10月1日時点)

- 人口推計では第6期中も緩やかに減少し、平成29年度では335,926人。高齢化率は27.5%と推計。
- 平成28年度実績値は、平成27年度実績値と比較して0.2%減の338,705人となっており、高齢化率はすでに27.6%となって平成29年度推計値を超えている。



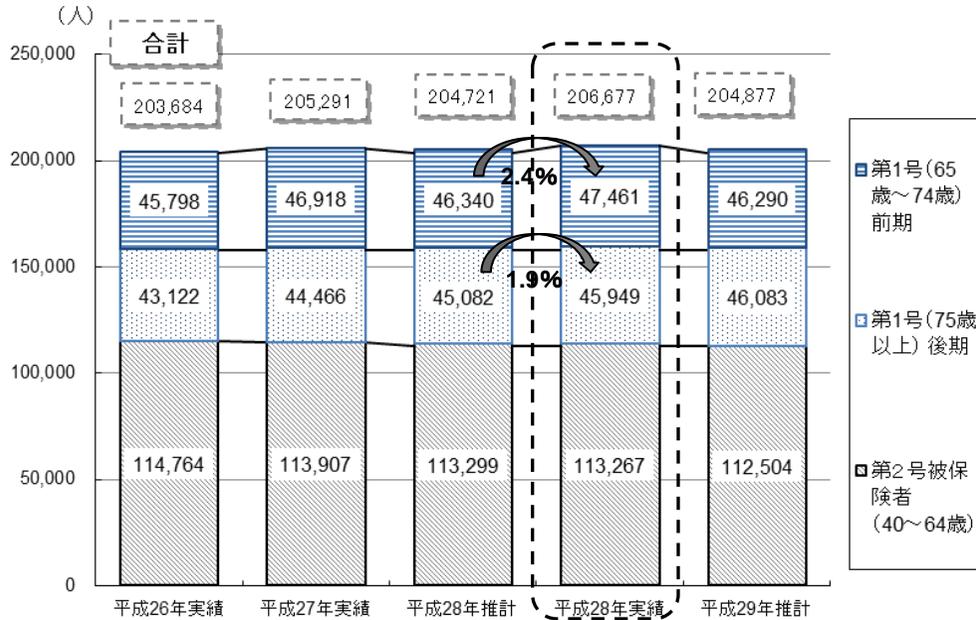
区 分	平成26年実績	平成27年実績	平成28年推計	平成28年実績	平成29年推計
総人口(人)	340,012	339,440	337,415	338,705	335,926
高齢者数(人)	88,920	91,384	91,422	93,410	92,373
(高齢化率%)	26.2%	26.9%	27.1%	27.6%	27.5%
(対前年比%)	3.3%	2.8%	1.2%	2.2%	1.0%
うち75歳以上(人)	43,122	44,466	45,082	45,949	46,083
40~64歳(人)	114,764	113,907	113,299	113,267	112,504
15~39歳(人)	92,166	90,598	89,428	89,047	88,386
15歳未満(人)	44,162	43,551	43,266	42,981	42,663

【参考】第6期スマイルプランにおける介護保険事業の状況

2 保険者の状況と要介護等認定者の状況

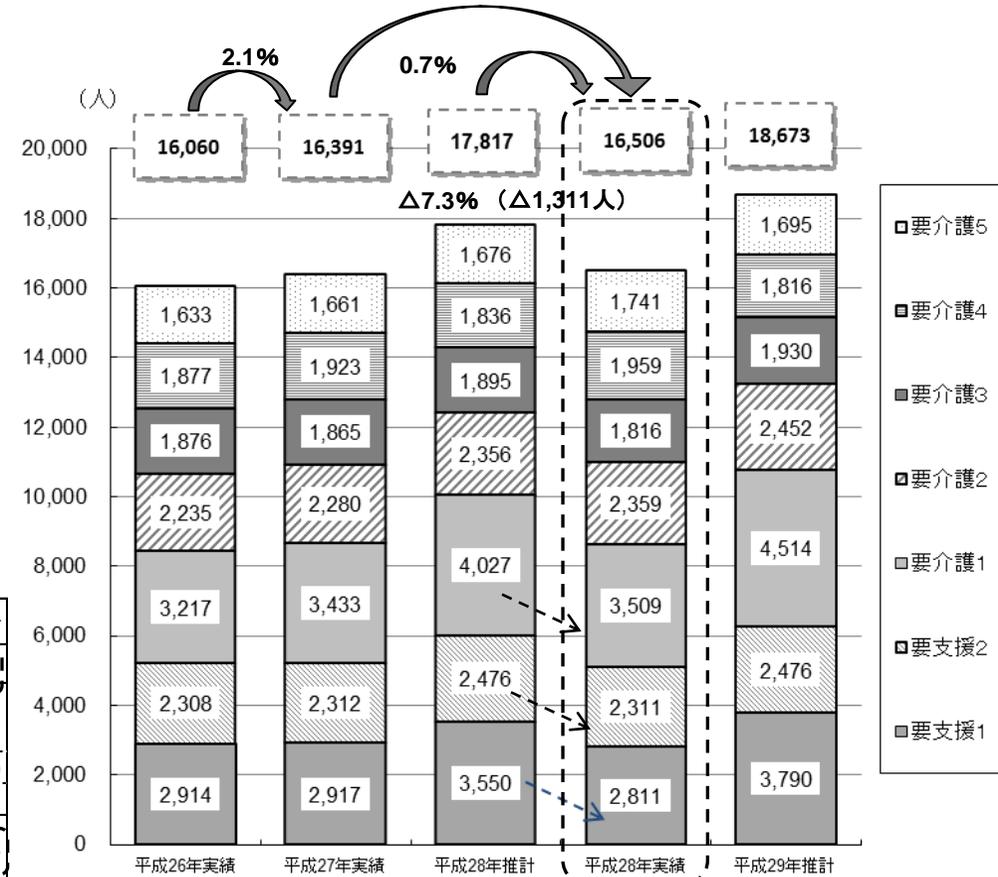
■ 被保険者の状況(各年10月1日時点)

- 65歳以上の第1号被保険者は、高齢化の進展と共に増加見込みだが、平成28年度実績値と推計値の比較では、前期高齢者で2.4%、後期高齢者で1.9%程度推計値を上回っている。
- 被保険者全体は、年間1,500人程度増加する一方で、40歳～64歳の第2号被保険者は、年間600～800人程度減少している。



■ 要介護等認定者の状況(各年9月末日時点)

- 第6期中の要介護認定者も引き続き増加の見込みであるが、平成28年度実績値と推計値の比較では、7.3%減(△1,311人)と大きく下回り、対前年比は0.7%となっている。
- 特に、要介護1までの軽度認定者の数が推計値を下回っている。(要支援1△739人・要支援2△165人・要介護1△518人)



区分	平成26年実績	平成27年実績	平成28年推計	平成28年実績	平成29年推計
被保険者数計 (人)	203,684	205,291	204,721	206,677	204,877
第1号被保険者(65歳以上)	88,920	91,384	91,422	93,410	92,373
前期 (人)	45,798	46,918	46,340	47,461	46,290
後期 (人)	43,122	44,466	45,082	45,949	46,083
第2号被保険者(40～64歳)	114,764	113,907	113,299	113,267	112,504

【参考】第6期スマイルプランにおける介護保険事業の状況

3 要介護認定の更新状況

■ 平成25年度と平成28年度の4月から9月までのそれぞれ半年間に要介護認定更新を行ったものの更新前後の要介護度の変化をみたもの。

■ 平成25年4月から9月までの変化

- この期間では、変更なし61.2% (○囲み)、改善14.7% (グラフの右上)、悪化24.1% (グラフの左下)となっている。

■ 平成28年4月から9月までの変化

- この期間では、変更なし60.3%、改善12.9%、悪化26.8%で、平成25年に比べて「変更なし」と「改善」の割合は低くなり、悪化の割合が高くなっている。
- 平成25年度と比較して悪化の割合は増加しており、特に要介護1で4.5%ほど、要介護4で8.1%ほど、要介護5では5.6%ほどの増加となっていることから、状態の維持が難しくなっている状況が伺える。

平成25度上半期 更新者認定結果

要介護認定の更新状況

(人)

	更新前の介護度	更新前の介護度							計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
更新後の介護度	非該当	16	0	0	0	0	0	0	16
	要支援1	795	141	39	13	4	3	0	995
	要支援2	227	691	136	32	14	6	1	1,107
	要介護1	68	170	677	111	39	13	2	1,080
	要介護2	9	40	167	335	84	27	6	668
	要介護3	7	12	53	114	241	56	6	489
	要介護4	2	3	25	50	144	258	47	529
	要介護5	0	0	5	15	48	144	316	528
	計	1,124	1,057	1,102	670	574	507	378	5,412

平成28度上半期 更新者認定結果

要介護認定の更新状況

(人)

	更新前の介護度	更新前の介護度							計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
更新後の介護度	非該当	7	1	0	0	0	0	0	8
	要支援1	786	121	37	8	4	0	0	956
	要支援2	203	634	130	31	13	1	0	1,012
	要介護1	89	148	771	114	26	10	3	1,161
	要介護2	11	30	250	319	66	17	5	698
	要介護3	6	8	84	127	209	56	4	494
	要介護4	1	1	28	54	171	248	45	548
	要介護5	0	3	6	13	55	171	313	561
	計	1,103	946	1,306	666	544	503	370	5,438

注) ○の部分は変更なし。これより上部が改善、下部が重度化を示す。

【参考】第6期スマイルプランにおける介護保険事業の状況

4 介護給付費の状況

■ 介護給付費の状況（各年実績及び推計値）

- 介護給付費全体の実績は、平成27年度では推計値を2.6%、平成28年度では5.2%下回った。
- 対前年比は、平成27年度では2.6%の増加、平成28年度では3.8%の増加となった。
- 介護予防サービス費や地域密着型サービス費の実績が見込みを下回る一方、居宅サービス費やその他のサービス費（高額介護サービスや特定入所者介護サービス等）の実績は見込みを上回った。
- 平成28年度から小規模な通所介護については地域密着型へ移行しているが、給付実績が推計値を大きく下回ったため（推計値の30%程度）、地域密着型サービス費実績が見込みを下回る大きな要因となったと考えられる。

